

科目名 (科目番号)	検査情報処理科学 (時間割参照)	教員名 金 村 茂	学科等	臨床検査	必修	履修年次	2
			曜日・時限等	時間割表参照	単位数	1	
			授業形態	講義	オフィスアワー	非常勤講師	
授業概要	精密で正確な検査を実施するための精度管理法や病気の診断における臨床検査値の評価方法について、統計学的手法を基盤として理解を深める。						
目的・目標	目的:臨床検査の精度保証体系を理解する。 目標:内部精度管理、外部精度評価、個別データ管理、基礎的性能調査、診断特性調査について、具体的に計算ができ、結果を解釈できる。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。						
授 業 計 画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	データ解析の基礎(1)	到達目標:度数分布表やヒストグラムの作成方法、確率分布について理解する。 学習内容:データの種類および集計方法を学ぶ。				
	2	データ解析の基礎(2)	到達目標:基本的な統計量について理解を深める。 学習内容:データを要約する統計量として、平均値や相関係数、回帰係数の意味を学修するとともに、その計算法を学ぶ。				
	3	基準範囲・許容誤差範囲	到達目標:基準範囲の概念について理解する。 学習内容:検査データを評価するための「ものさし」となる基準範囲の考え方と計算法、測定誤差の存在とその許容範囲の考え方を学ぶ。				
	4	内部精度管理(1)	到達目標:管理図法の基本を理解する。 学習内容:臨床検査室で行われる主要な内部精度管理手法「管理図」を学ぶ。				
	5	内部精度管理(2)	到達目標:内部精度管理全般について理解する。 学習内容:管理図法以外の内部精度管理手法を学ぶ。				
	6	外部精度管理	到達目標:外部精度評価についての理解を深める。 学習内容:複数施設間での測定値の互換性を確認する外部精度評価制度の重要性を学ぶ。				
	7	方法間比較	到達目標:基礎的性能評価の方法論を理解する。 学習内容:新しい検査法の導入に際して行われる基礎的性能の評価方法を学ぶとともに、方法間比較における統計学的な評価の視点を学ぶ。				
	8	診断特性	到達目標:ROC分析について理解する。 学習内容:病気の診断に関する有用性評価のための統計学的手法について学ぶ。				
成績評価の方法・基準	対面・オンライン共通：定期試験（100%）						
教科書	臨床検査総合管理学 第3版		高木康・三村邦裕（編）		医歯薬出版		
参考図書	これから始める統計学 品質保証・精度管理教本		蓑谷 千風彦 日本臨床衛生検査技師会		東京図書 じほう		
教員からのメッセージ	臨床検査は病気の診断、治療方針の決定、予後の予測等において今や欠くことのできないものとなっています。正確かつ精密な検査結果をタイムリーに臨床現場に届けていくことが臨床検査技師の大きな使命であり、測定によって得られた検査結果の信頼性を確実にしていくためには、測定環境や測定データの検証が必要となります。授業では測定結果の取り扱い方となる「データ処理技術」について、習得しなければならないことを中						